

臨床薬剤学

| | | | |
|--------------|------------------|--------|----------|
| 責任者・コーディネーター | 臨床薬剤学講座 工藤 賢三 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 臨床薬剤学講座 | | |
| 対象学年 | 4 | 区分・時間数 | 講義 18 時間 |
| 期 間 | 前期 | | |
| 単 位 数 | 1 単位 | | |

・ 学習方針（講義概要等）

時代が求める医療を実践できる薬剤師としての素養を身につけるため、薬剤業務全般についての基本的知識、技能、態度を修得する。また、チーム医療、治験業務、リスクマネジメントなど、近年薬剤師に期待されている業務について理解を深める。さらに、医薬分業など、地域医療と薬剤師の関連について学ぶ。

・ 一般目標（GIO）

調剤・製剤・医薬品管理・DI業務といった薬剤師の基本業務の他、薬剤管理指導業務、薬物血中濃度モニタリング業務(TDM)、治験業務、がん化学療法など、最近薬剤師に期待されている業務全般について学ぶ。さらに、感染制御チーム、緩和ケアチーム、栄養サポートチームなどチーム医療と薬剤師の関わりについて理解を深める。また、地域医療における保険薬局の役割についても学ぶ。

・ 到達目標（SBO）

1. 病院における調剤と保険薬局における調剤について説明できる。
2. 院内製剤や薬局製剤について例をあげて説明できる。
3. 医薬品管理業務について概説し、特殊管理の必要な医薬品を列举できる。
4. 医薬品情報業務や医薬品添付文書の読み方が説明できる。
5. 薬剤管理指導業務の目的、方法、必要な知識等について概説できる。
6. 薬剤管理指導業務における服薬指導記録の必要記載事項について説明できる。
7. 医薬品開発における治験の流れと薬剤師の関わり、治験コーディネータの業務と責任、インフォームドコンセント等について説明できる。
8. 血中薬物濃度モニタリング業務（TDM）について実際例をあげて説明できる。
9. TDMの薬物投与計画への応用について例をあげて説明できる。
10. がん化学療法における薬剤師の役割について概説できる。
11. チーム医療と薬剤師の関わりについて概説できる。
12. 地域医療における保険薬局の役割を概説できる。

・ 講義日程

(矢) 東 104 1-D 講義室

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|------|----|----|---------|----------|-----------------|
| 4/10 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 工藤 賢三 教授 | 調剤業務、リスクマネジメント |
| 4/17 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 岩 渕 修 助教 | 製剤業務（一般製剤、無菌製剤） |
| 4/24 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 岩 渕 修 助教 | 医薬品管理業務（薬局、病院） |
| 5/1 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 岩 渕 修 助教 | 医薬品情報管理業務 |

| 月日 | 曜日 | 時限 | 講座(学科) | 担当教員 | 講義内容 |
|------|----|----|---------|----------|--|
| 5/8 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 岩 渕 修 助教 | 薬剤管理指導業務(1)薬剤管理指導業務の概要、服薬指導に必要な情報と知識 |
| 5/15 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 岩 渕 修 助教 | 薬剤管理指導業務(2)薬歴管理、指導記録、服薬指導の実際、特殊な患者への服薬指導 |
| 5/22 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 佐藤 淳也 講師 | チーム医療と薬剤師の関わり |
| 5/29 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 佐藤 淳也 講師 | がん化学療法及び緩和医療における薬剤師の役割 |
| 6/5 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 工藤 賢三 教授 | 治験業務(治験の流れと薬剤師の関わり) |
| 6/11 | 火 | 4 | 臨床薬剤学講座 | 佐藤 淳也 講師 | 血中薬物濃度モニタリング業務(TDM) (1)薬物投与計画への応用 |
| 6/12 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 佐藤 淳也 講師 | 血中薬物濃度モニタリング業務(TDM) (2)TDM 業務の実際 |
| 6/26 | 水 | 2 | 臨床薬剤学講座 | 工藤 賢三 教授 | 医薬分業と保険薬局、地域医療と薬剤師 |

・教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|----------------------------------|--------------|----------------------|------|
| 教 | 調剤学総論 改訂 11 版 | 堀岡 正義 | 南山堂 (定価 6,800 円) | 2012 |
| 教 | 治療薬マニュアル 2013 | 高久史磨、矢崎義雄 監修 | 医学書院 (定価 5,000 円) | 2013 |
| 参 | 標準薬剤学：医療の担い手としての薬剤師をめざして 改訂第 3 版 | 渡辺 善照、他編 | 南江堂 (定価 7,980 円) | 2012 |

・成績評価方法

講義の出席状況、定期試験、小テスト、レポート等から総合的に評価する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|---------------------------|----|-----------|
| 講義 | パソコン (パナソニック CF-W9JWECD5) | 1 | スライド投影のため |